

## GOAL (LX・LD) シリンダー取替 取付説明書

このたびは NAGASAWA 製品をご採用いただき、誠にありがとうございます。  
製品を正しく施工していただくために、本説明書の内容をご確認ください。  
引渡し時に、別紙取扱説明書（お施主様向）を、お施主様へお渡しください。

梱包内容一覧・表を参照のうえ、部品の有無をご確認ください。

 ① キーレックス本体 1	 ② 樹脂ベース 2 ここを切り 離して使う	 ③ GOAL 対応 アダプター 1	 ④ アダプター固定ねじ L=40 2	 ⑤ 室内丸座 2	 ⑥ 本体固定ねじ L=30 2 L=50 2	 ⑦ 取説 set 1
--	---	--	---	--	---	--

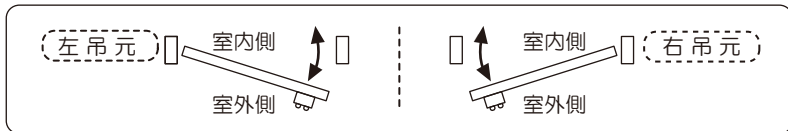
### 1 取付前の準備

【1】現在取り付けてある錠の確認 錠のフロント板の刻印『GOAL LX』『GOAL LD』を確認します。

【2】記憶番号の確認 ① キーレックス本体にセットされている記憶番号を確認します。取扱説明書をご覧ください。

【3】扉の吊元の確認と、① キーレックス本体の調整

右図で扉の吊元を確認します。



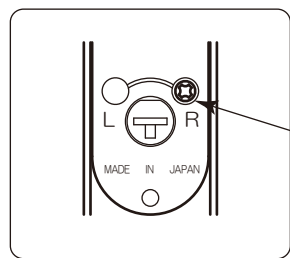
① キーレックス本体は工場出荷時、本体裏の R 位置に吊元変更ねじを固定しています。

左吊元 そのまま【4】に進んでください。

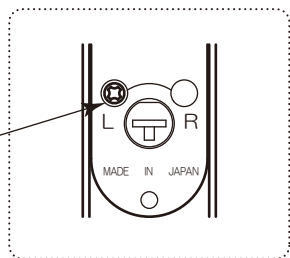
右吊元 ① キーレックス本体裏の吊元変更ねじを右図のように入れ替えます。  
吊元変更ねじはしっかりと締め付けてください。

⚠ 吊元変更ねじを逆の状態で取り付けた場合、解錠できなくなります。ご注意ください。

工場出荷時 左吊元



右吊元



吊元変更ねじ  
取り付け位置

【4】取付扉厚を測ります。対応扉厚は 30～60 mm です。

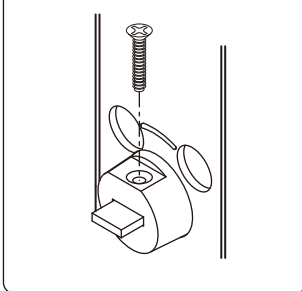
① キーレックス本体は工場出荷時、対応扉厚は 30～40 mm です。

扉厚 30～40 mm：そのまま裏面 ② に進んでください。

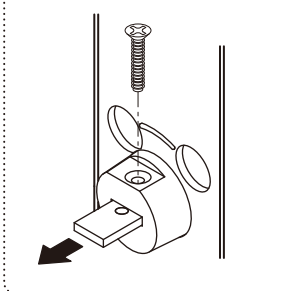
扉厚 40～60 mm：① キーレックス本体裏のテールピースを右図のように調整します。

工場出荷時

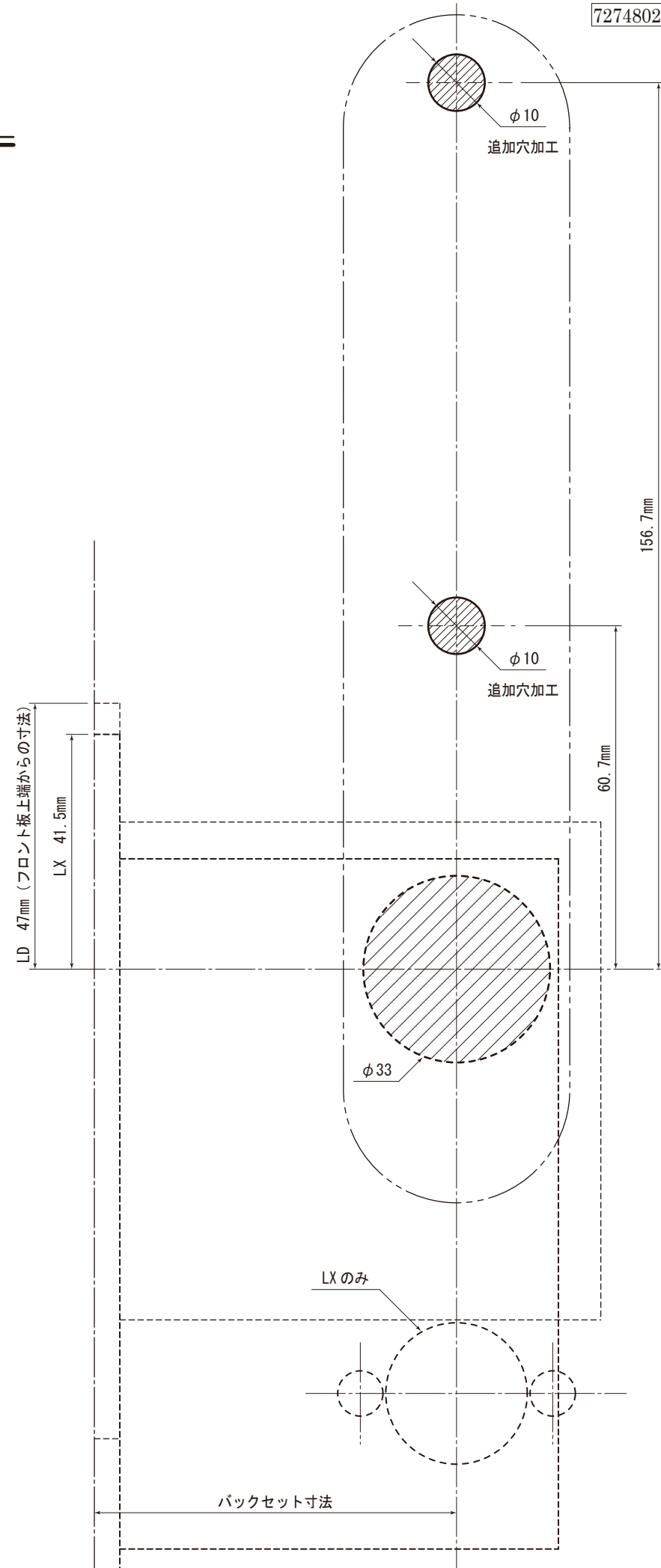
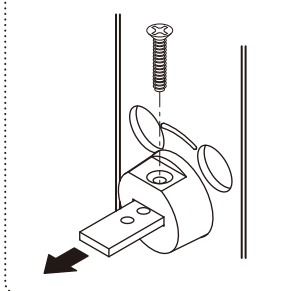
扉厚 30～40 mm



扉厚 40～50 mm

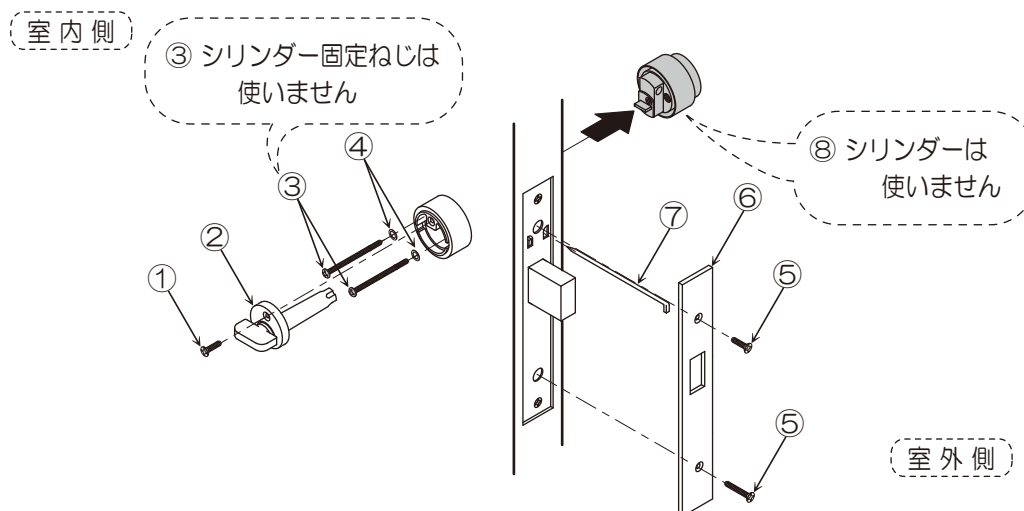


扉厚 50～60 mm



## 2 既存シリンダーの取り外し：扉は開けたままの状態、②～⑥をおこなってください。

7274802



I：サムターンを90度回します（錠のデッドボルトが出ます）。

①サムターン固定ねじをゆるめ、②サムターン座をはずします。

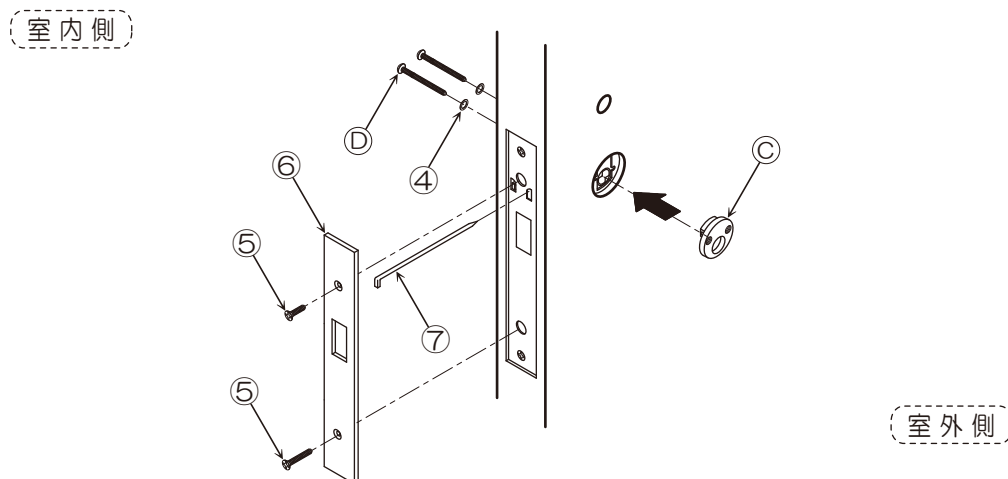
II：③シリンダー固定ねじ2本をはずし、④座金をはずします。

III：⑤フロント板固定ねじ2本をゆるめ、⑥フロント板をはずします。

IV：⑦シリンダー止めピンを抜き、⑧シリンダーを取りはずします。

V：デッドボルトを、ドライバー等を使い錠に収めます。

## 3 アダプターの取り付け



I：図の向きに②アダプターを取り付け、⑦シリンダー止めピンで固定します。

II：④座金と、①アダプター固定ねじで、②アダプターを固定します。

III：⑥フロント板をセットし、⑤フロント板固定ねじ2本で固定します。



株式会社 長沢製作所

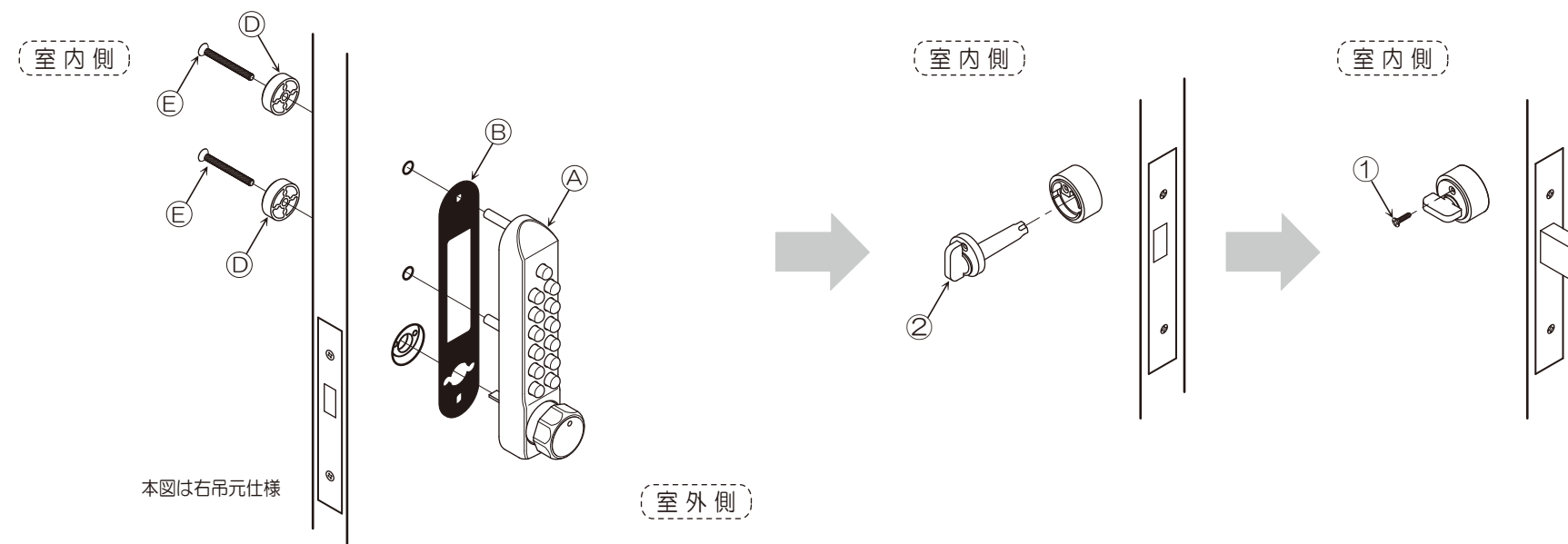
東京支店 TEL. 03-5383-1811（代） 福岡出張所 TEL. 092-524-7031（代）  
FAX. 03-5967-3103 FAX. 092-524-7032

大阪支店 TEL. 06-6783-5091（代） 札幌出張所 TEL. 011-583-3575（代）  
FAX. 06-6783-5092 FAX. 011-583-3572

## 4 扉への追加穴加工

既存切欠き穴の中心から、垂直上部へ2ヶ所（裏面切欠き図参照）に、直径10mmの貫通穴を開けてください。

## 5 キーレックス500の取り付け：



I：室外側に①キーレックス本体と②樹脂ベースをセットします。

II：室内側から③室内丸座をセットし、④本体固定ねじ2本で固定します。

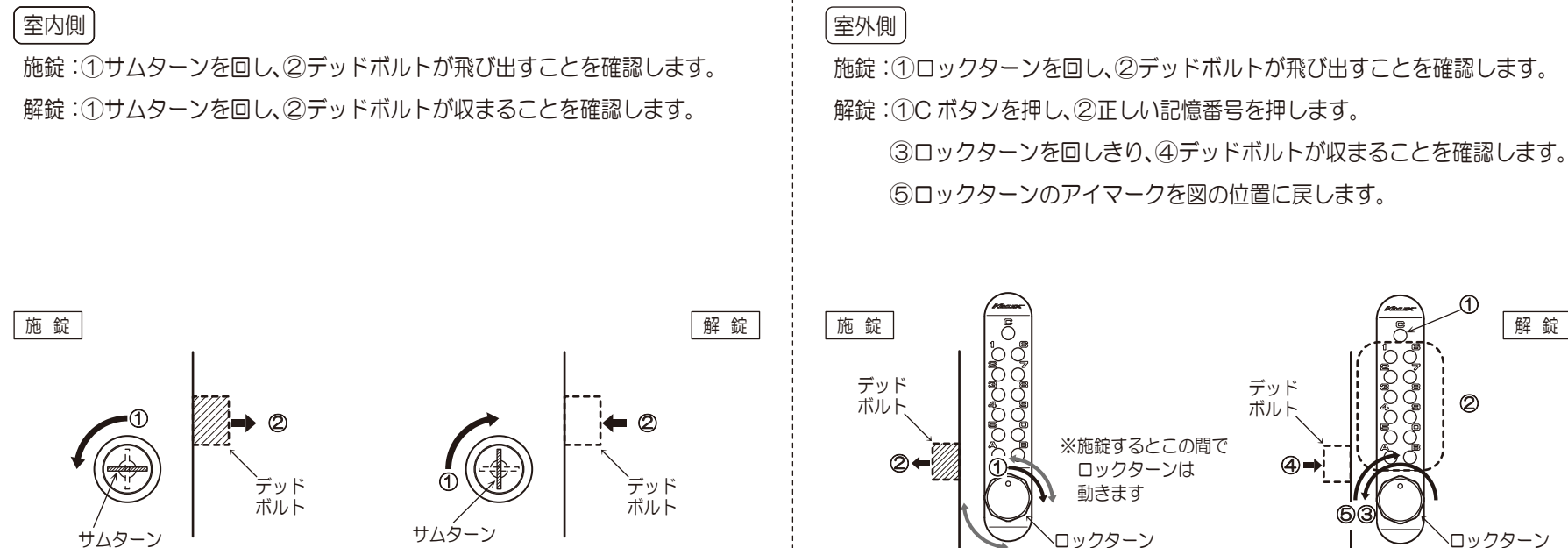
④本体固定ねじは、扉厚にあわせてお使いください。

※ ①キーレックス本体と扉厚の微調整には、②樹脂ベースで対応してください。

III：室内側から⑤サムターン座を  
図の向きで差し込みます。

IV：⑥サムターン座を90度回し  
（デッドボルトが飛び出します）  
⑦サムターン固定ねじで固定します。

## 6 作動確認： ロックターン、サムターンが作動しない場合は、記憶番号とテールピースの取り付け位置を確認してください。



※本図は右吊元仕様です。左吊元時は対称です。